

税理士法人イワサキ 沼津WEST誕生！



小関先生挨拶



現在、会計事務所は転換期を迎えています。1970年代前半まで経理業務はすべて「手書き」でした。入出金・振替伝票の起票を行い、現金出納帳・預金帳を作成した後でその伝票を勘定科目ごとに分類し10桁または12桁の精算表を作成しました。電子計算機よりそろばんが主でしたから、その事務負担現在の比ではありません。この「そろばん・手書き」時代から、半世紀をかけて「電卓・コンピューター」時代に変革していきました。会計職員一人が処理できる情報は劇的に増加した一方、人為的な集計・計算ミスが激減しました。

そして現在、ITを駆使しRPA

(Robotic Process Automation)などを利用した「AI(人工知能)」時代に入っています。コンピューターの設定が正しくなされていると仮定すれば、人為的なミスは皆無になる時代です。そこで会計事務所に求められる業務は、小規模でありながらもより専門性を追求するか、中規模以上で事業承継・M&Aまたは周辺業務を一手に引き受けるかの二極化となります。お客様の要望に柔軟に対応する為には、中規模以上でなければならないと考えます。沼津WESTはメンバーが6名ですが、本先に協調しながら地域に貢献できる会計事務所を目指します。

令和3年1月、税理士法人イワサキと小関剛事務所は経営統合し、今までの小関剛税理士法人は、「税理士法人イワサキ 沼津WEST」として、新たなスタートを切ることとなりました。

小関剛税理士事務所は、沼津市西沢田に事務所を構え、6人体制で、中小企業の顧問先支援をしている事務所です。小関先生自身も税理士会や行政書士会の理事を務め、4月からは行政書士会沼津支部の支部長を務めることになっており、事務所での業界の地位も確立させています。

お客様やスタッフの負担をかけないためにも、当面はそれぞれの業務内容、システム等は変更せず、担当変更や人事異動もなく、従来通りの業務を行っていきます。

令和4年3月には、事務所創立から50年が経過します。そこからさらに50年、100年という未来に向けて、この経営統合をきっかけに小関事務所メンバーと共に、新しいスタートを切れればと考えております。



田中 裕作

租税は公共サービスの資金の調達です。したがって、会社における事業の選択が税制に影響を受けることがよくあります。しかし本来、事業の選択が税制という制度に左右されるようでは本末転倒です。単一な解釈だけでなく、その機微に触れることが出来るよう経験を生かして参りたいと思います。

田中 美智子

社内の清潔さを保ち、気配りや心配りが出来るように日々頑張っています。

菊地 淳美

基本通達の前文には「法令の規定の趣旨、制度の背景のみならず条理、社会通念をも勘案しつつ、個々の具体的な事案に妥当する処理を図るよう努められたい」とあります。制度の趣旨とおお客様の目的とを勘案したうえで対応できるように努めていきたいと思っています。

上杉 修平

常に心掛けていることは、クライアントの立場になって考えることです。といひましても、若輩である私がクライアントの考えを踏襲して税務上、最適な会計処理を提案することは簡単ではありません。勤勉を心がけて頑張りたいと思います。

黒木 智恵

様々な業種に対応できるよう法人税や所得税の理解を深めていきます。一旦は納税者不利になるような会計処理であるとしても将来的に会社に恩恵をもたらすような対応を図りたいと思います。まずは、法人税及び所得税の申告書が作成できるよう勉強して参ります。

税理士法人イワサキ 沼津WEST
アクセス：沼津市西沢田216-2
TEL:055-941-7630/FAX:055-941-7650